

映画『遥かな町へ』のタペストリーの前で福高祭をPRする関係者



「遥かな町」盛り上げへ

19日、催し多彩に「福高祭」

錦織監督トークショーなど

倉吉市

鳥取県中部の福を高める「福高祭」

「福高祭」は、19日午前10時半～午後3時、倉吉市明治町の打吹回廊を主会場に開かれる。今夏、映画『遥かな町へ』のロケ地になった白壁土蔵群、そして撮影の「前線基地」になった打吹回廊。同祭では、錦織良成監督のトークショー、若手アーティストのライブペイントなど多彩な催しがある。錦織監督は、エキストラ

で出演した市民らも交えて映画に関する楽しいトークを展開。アートイベントでは、ペン画家えんどつととしさん（米子市出身）が動物をモチーフにした作品、湯梨浜町の高校生アーティストS A W Aさんが独創的なスプーンアートの作品をそれぞれ仕上げ、湯梨浜学園の生徒が書道パフォーマンスを披露する。

倉吉銀座通りの一部が歩行者天国になり、金管バンドや芸能、ダンスのステージ、落書きゾーンも用意。

人気グルメが並ぶ福高マルシェ、午後には地元野菜の無料配布（先着200組）もある。

小林健治実行委員長は「今夏は『遥かな町へ』のロケで倉吉が活気づいた。映画の成功とまちの活性化を願い、皆さんの福を高める祭りにしたい」と来場を呼びかける。（小谷和之）